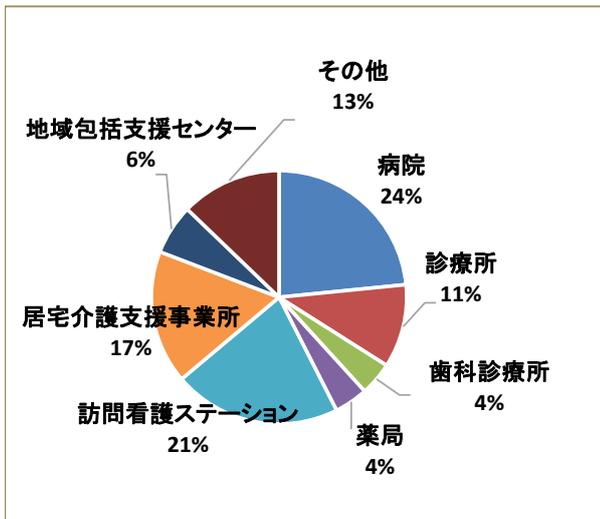


令和5年度南区ACP研修会 アンケート結果

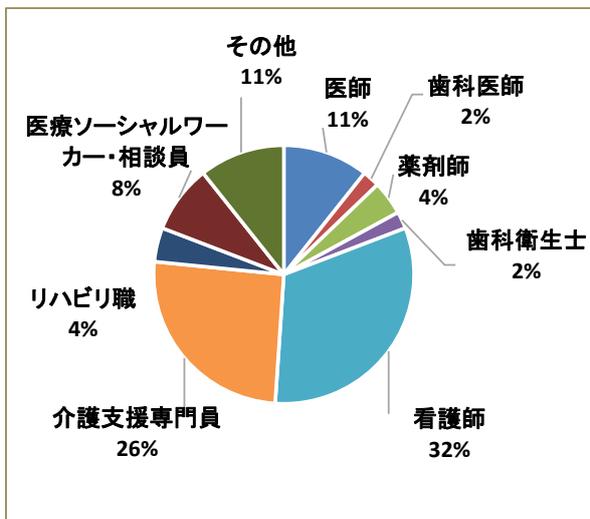
令和6年3月13日(水)開催

参加57名、アンケート回答47名(回収率82%)

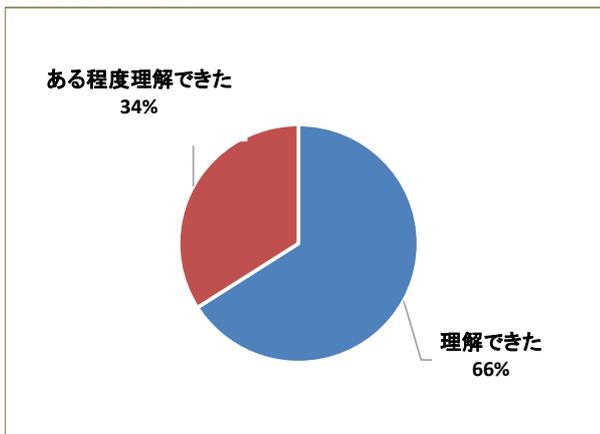
問1-1.所属



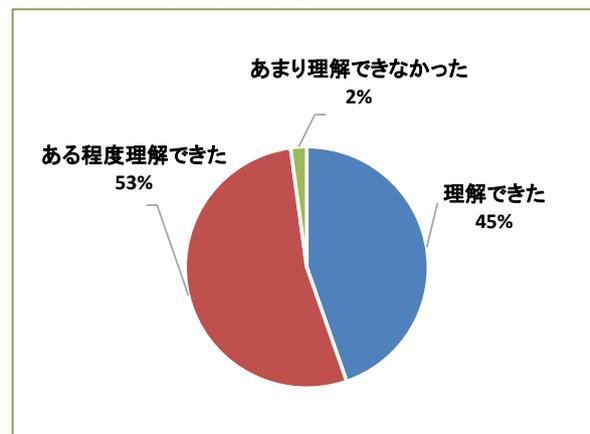
問1-2.職種



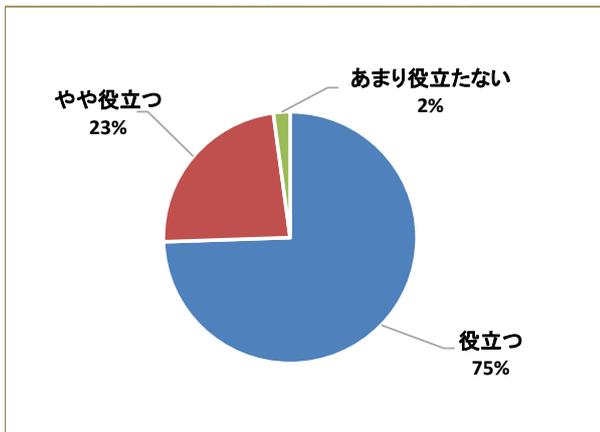
問2.講演の内容



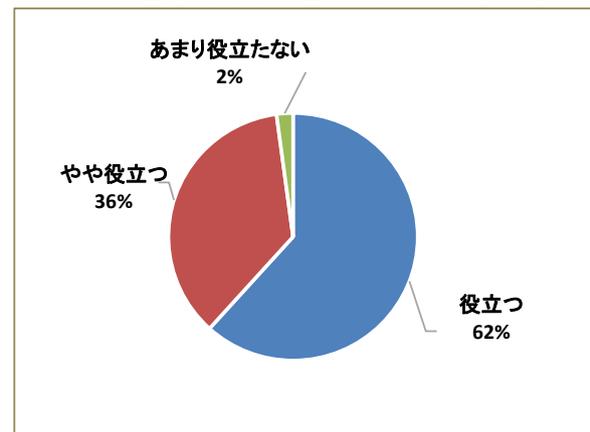
問3.グループワークの内容



問4-1.今後のACP実践に役立つ機会となったか



問4-2.多職種理解を深め連携に役立つ機会となったか



問5.「市民と多職種双方のACP普及啓発」を目指すための南区の取り組みについて

○普及啓発

- ・市民へのACP理解度が低いので市民向けの普及啓発に力を入れることが必要。
- ・ACPとは？在宅とは？まずそれが何か知らない「家に居ることができる」と知らない方がまだ多いので周知が必要。
- ・市民の方と医療・介護職がともに参加できる会があるとよい。双方のACP普及を頑張っていく。
- ・一般市民の方々にもACPが浸透すると私たち医療職が聞き取りやすくなる。
- ・日常のささいな会話も人によって場面によってしっかりACPIになっていくことを啓発していく。
- ・病院職員向けとしても何か取り組めることがあるか病院の立場での働きかけができるとうい。
- ・各病院でも患者さんの聞き取りを行い日常生活の話をして皆で情報共有する。
- ・配布の在宅医療・介護のしおりはともでわかりやすいため退院時などのタイミングに活用するとよい。
- ・会話の中で本人・家族のACPを引き出せるような声かけを行っていきたい。

○ACPの学びと活用など

- ・情報共有が大切だと感じた。
- ・情報共有について多職種で共有できる仕組み、情報共有のやり方も相談できるとよい。
- ・多職種で話ができる場がたくさんあるとうい。
- ・今回のような取り組みや機会を回数を重ね定期的に継続していくことがよい。(4名)
- ・多職種で考え話し合えるACP研修会。(2名)
- ・変化をみつけてつなぐことができる。
- ・ACP体験を少しずつ重ねてきたので機会があつたら必要と感じる場面で活かしていきたい。
- ・多職種が集まるサービス担当者会議でACPが活用できるとよいと感じる。(2名)
- ・利用者さんの話をたくさん伺って問題を解決できるようにしていきたい。
- ・ACPを進めるにあたって訪問看護師に大変助けられている。
- ・高齢化、障害、貧困等様々な課題を抱える南区だからこそ支援者同士が団結しやすいと感じる。
- ・プランニングを楽しくイベントの様に家族でつくれるとういと思った。
- ・本人と家族の意見をよく聞き互いの意見を尊重しつつ、双方の納得のいく答えを出すことが大事。

問6.南区在宅医療・介護連携における研修会開催の曜日や時間などの希望について

○グループワークについて

- ・グループワークでもっと多職種とディスカッションしたかった。(5名)
- ・様々な職種の方の体験が聞けて興味深かった。(2名)
- ・ACPと“種”何について話し合うのか少しわかり難かった。

○開催時間について

- ・もう少し早い時間帯の開催がよい。(2名)
- ・夜の開催は仕事に支障なく参加しやすい。(2名)
- ・平日の開催がよい。
- ・医師との連携が重要に思うので先生方の参加しやすい時間でよいと思う。
- ・平日の日中時間帯の方が参加しやすい。(2名)